



第 49 号

創立八十周年

「新渡戸文化学園」へ

昭和二年(一九二七年)に恩師・新渡戸稲造先生の教育思想を具現化するために森本厚吉先生によって創立された本学園は、今年創立八十周年を迎えます。今日、家庭や社会で「心の教育」が強く求められています。

学園は「ルネッサンス80」として、創立の精神を再確認し、新たな展開を進めています。日本人の心の在り方を「武士道」に著した新渡戸先生の考え方を、八十年にわたって実践していることを強くアピールするために



豊川圭一理事長(左)と森本晴生学園長・学長

平成二十年四月から法人名を「東京文化学園」から「新渡戸文化学園」に変更します。これは新渡戸先生を初代校長とする本学園の教育の基礎とする考え方を明らかにして、社会を担おうとする若人の行動指針として鮮明に打ち出すものです。

なお、東京文化短期大学、東京文化高等学校などの学校名は変更しません。

森本厚吉先生は新渡戸先生が

札幌農学校に入学した年、明治十年に生まれました。札幌で新渡戸先生から指導を受けたのは、明治二十七年に札幌の北鳴学校五年編入学から、札幌農学校本科一年が終わろうとする明治三十一年春に新渡戸先生が札幌を去るまでの四年間です。森本先生は新渡戸先生から英文学と倫理学を学び、その高い人格から大きな影響を受けました。

卒業後には新渡戸先生と同じようにアメリカに渡りジョンズ・ホプキンス大学院に学び、帰国後は北海道大学となった母校で教鞭をとりました。新渡戸先生と森本先生が似た行動をとったことは、新渡戸先生の森本先生への影響が大きかったことを示しています。

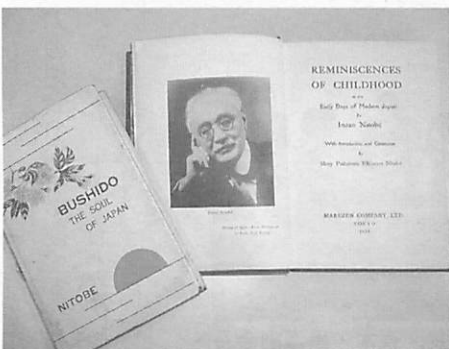
森本先生は北大教授のかたわら文化生活運動を始め、日本の生活水準を上げる活動を行いました。その一環として女子教育を始めることになり、昭和二年に「女子文化高等学院」を設立し、翌年に「女子経済専門学校」に昇格する手続きを進めていたときに新渡戸先生が帰国されました。先生は、自分の希望の一つが実現できるとして、校長に就任することをすぐに承諾

されました。昭和八年十月に新渡戸先生がカナダで客死されたことは翌日学校に知らされ教職員も生徒も非常に悲しみました。しかし、悲しみを乗り越え、新渡戸先生の考え方は森本先生によって引き継がれ、今日の東京文化学園の教育に結実しています。

学園役員の交代

平成十一年から理事長の職にあった森本晴生理事は今年三月で理事長を退任し、新たに豊川圭一理事が理事長に就任し、森本晴生理事は学園長になりました。学園長は学園の教育理念の維持発展と、各学校の教育の調整に当たります。

これと同時に、矢部邦男理事が常務理事を退任し、升野龍男



新渡戸稲造著書(本短大図書館所蔵)

理事が学務理事から常務理事にと担当が代わりました。

募金のお願い

学園では、創立八十周年記念募金を卒業生、在学生の保護者、役員、教職員などの関係者にお願ひしています。当初は五億円を目標とし、平成十八年度に行った六・九号館の耐震工事に別に補助金が得られたので目標額を三億五千万円に下げました。しかし、今年の三月の段階で、目標を下回る六千万円のご協力をいただいたに止まりました。

今年度から就任した豊川理事長は、今年度中にと六千万円の募金を推進しようと述べ、役員に一千万円、在学生の保護者(後援会員)に二千万円、同窓会員に三千万円の目標を設定し、協力をお願いしています。

すでに学園から募金のお願ひが届いていることと思いますが、同窓生の皆様に、創立八十周年を機会に母校にご協力いただきたく、お願ひいたします。

平成十九年六月末の募金状況
総額六、五〇一万円(一六九三件)
うち同窓生一、三三〇万円(七七〇件)

平成一九年度総会開催

短33 森 孝子(佐藤)

徐々に認知症の進み始めた母(九十四歳)の体調が良かったので、六月二日の同窓会総会に参加することができました。

数年ぶりに訪れた母校、校舎は輝く青葉に映えて、歴史と伝統を感じさせる佇まいを見せておりました。故郷に帰ったような感懐を覚えました。旧知の方々との再会もうれしいものでした。総会は視聴覚室で始められました。湊会長のご挨拶に続き学園創立八十周年を迎え、各行事、新企画、新校舎の計画等、森本晴生学園長からのお話がありました。議題等も滞りなく進みました。アトラクションは会場を小体育館に移し、土屋乃予様(BA五期生)を中心にベニートガルシアフラメンコのメンバーによるフラメンコを鑑賞することができました。舞踊も素晴らしく、演奏の迫力には圧倒され、若い同窓生や在学生にも鑑賞の機会があれば良いのと思いました。

懇談会は第二カフェテリアで、いつものようにカフェテリアのスタッフによる心のこもった美

味しいお弁当をいただきながら和やかに過ごすことができました。卒業したばかりの若い男性が出席しており、母校の現在の様子を聞くことができました。

この日の大きなイベントは、母校創立八十年に因み八十歳以上の出席者に記念として、真珠のついたボールペンが贈られたことです。皆様かくしゃくとしておられ、お住まいの地域で同窓会のために、それぞれのなすりようでお骨折りくださったと伺いました。

名残り尽きない懇親会でしたが、定刻には無事終了して三々五々母校を後にしました。



同窓生の短大の先生方による、手作り弁当が用意されました

六月二日(土)同窓会総会が開催

医1 相賀 静子

された。今年度は東京文化学園創立八十周年記念事業年にあたり、記念イベントを行った。第一部総会は視聴覚室で、司会成沢敏枝さん。湊くに会長のお元

気なお声でのご挨拶に始まり、学園側から森本晴生学園長の学園の現状についてのお話をいただいた。次いで新役員選出。会長湊くに、副会長黒澤教子・森本晴生、会計監査青木純子・高橋芳子を選出された。事業報告、本年度計画と予算、観劇会についてそれぞれ報告があり、全員一致で承認された。

第二部は小体育室でのアトラクション。黒澤教子さんの進行でフラメンコが行われた。プロダンサーの土屋乃予さんは本学ビジネス・アカデミー五期生で、創立八十周年を祝しての出演であり、ギター、カステネットを叩きながら足を踏み鳴らして踊る素晴らしさに、しばし時を忘れさせてくださった。

第三部は第二カフェテリアでの懇親会、中川悦さんにより進行した。長寿の皆さんにはミキモトのボールペンが贈呈された。少々遅い昼食は短大の先生方の心のこもった手作り弁当を始め、校内卒業生・同窓生のお力添え

のもと進行、最後に藤原芳江さんの閉会の挨拶の後、本学特製パウンドケーキをお土産に散会した。



新役員として、湊会長、森本・黒澤副会長が選出されました(左から)

高40 佐藤 照子(鴨下) 今年の総会は学園内で執り行うことになりました。予定通り視聴覚室で行われ、第二部に移って、フラメンコ鑑賞となりました。

黒澤先生のご紹介で、踊られた土屋さんはアカデミーの五期生で、フラメンコの第一人者長嶺ヤス子さんの付き人を経て、一人でスペインに渡り、フラメンコを学んだそうです。生の伴奏で、韓国の友人のフラメンコもあり、大変素晴らしかったです。第三部はいよいよ待ちに待った食事でした。カフェテ

リアの給食担当の先生の手作りお弁当を懐かしく、お味もとてもおいしくいただきました。お弁当をいただきながら、長寿の方々への祝いの記念品、今後もご活用くださいますように、ミキモトのボールペンが付いたボールペンが贈られました。いつまでもご活躍なさいますように。それから中高堀越校長の生徒の指導やしつけ等、熱弁をうかがって、知り合いの方等のお子様を本校に紹介したいと思いを歌って、最後に参加者全員で校歌を終了することができました。今回の総会は久々に参加しましたが、企画も有意義な催しだったと思います。



ビジネスアカデミー卒・副幹事長土屋さん(右端)等プロによるフラメンコ

観劇会

観劇会に臨み

高女20 新倉 邦子(見坊)

去る六月二十四日(日)新橋演舞場にて、同窓会恒例の観劇会が催され、約四百名の方が参加されました。開幕前の場内では、先生方をはじめ同窓生の皆さんが旧交を温め和やかに談笑されるいつもの情景が見受けられました。

当日上演の「おんな太閤記」は、卒業生である石井ふく子さんの演出(橋田壽賀子作)によるもので、三時間を超える大作でした。当日お越しにならなかった皆様のために、ものがたりのアラジをご紹介させていただきます。戦国時代に生きる豊臣秀吉の妹あさひ(泉ピン子)は秀吉の関白出世に伴い、ある日突然、秀吉の命により愛する夫甚兵衛との別離を余儀なくされ、徳川家康と政略結婚させられる。それは、正妻とは名ばかりの人間質ということだった。心満たされぬ日を送るあさひのために、旅芸人の一座が浜松城に招かれる。あさひの面前で

華麗な芸を見せる男芸人に対し、賞賛の言葉と共に面を取るよう命じる。しかし、その芸人はなかなか面を外さない。躊躇する男性こそ運命のいたざらとい

うべきか、かつて心ならずも身を引いて去って行った恋しい夫甚兵衛だった! あさひはそれを機に益々甚

兵衛への思いを募らせ、再会するものと思いは叶わず、

甚兵衛の名を練り返し呼びながら次第に

錯乱状態となり、悲運の最期を遂げる。

美しい衣装の数々と舞台の転換の早

さ! あさひの哀れな生涯を偲びつつ閉幕となりました。

豊臣秀吉の栄華と野望の陰に泣く女性たち。悲運の主人公あさひの一途な女心に胸打たれ、緞帳が降りた後の同窓生の皆さんは、一瞬静寂の後、わき上がる

大拍手! となりました。チケット完全にご協力くださった幹事

観劇会に出席して

短31 伊宝田知子(上遠野)

年に一度の観劇会のお誘いをクラスメイトからいただくことを、すごく嬉しく楽しみにしております。私にとって桃園寮で

の皆様、本当にご苦勞様でした。

もの雰囲気とは違った感じを受けます。今回の「おんな太閤記」は、演出の素晴らしさ、そこで演じる俳優さんと女優さんたちの演技が私の心にしっかりと

と伝わり、とても味のある演劇でした。また、久しぶりに私の大好きな淡島千景さんの存在に感動しました。その他に、それぞれの衣裳には日本の文化が濃縮されていること等々、この演劇を観賞して感じることができました。

来年の観劇会を今から楽しみにしております。

この二十年来、同窓会主催の観劇会は私にとって年中行事になっています。いつも高校、医技時代の同級生と誘い合わせて参加しています。

観劇会の魅力は東京文化の先輩である演出家の石井ふく子さんの作品を恩師の先生方、先輩の方々、同級生に囲まれて、甘く懐かしい時間の中で味わえることです。

今回は六月二十四日に新橋演舞場で行われました。演目は橋田壽賀子作「おんな太閤記」あさひの巻」でした。おんな太閤記といえば、ねねが主人公と思うところですが、秀吉の妹あさひを主人公にした設定が新鮮でした。激動の戦国時代に兄が、夫が、息子が太閤になったがために時代に翻弄された女性たちの物語でした。脚本と演出は人気作品を数々発表されているベテランのおふたり、さらに演劇界やテレビ界でご活躍の方々が多数出演されていて魅力的でした。悲しい結末が切なくも、衣装も豪華絢爛で舞台の醍醐味を十分に堪能しました。主演の泉ピン子さんがNHK大河ドラマで同役を演じられた時のことを思い出しながら鑑賞しました。

楽しみな観劇会

医50 熊澤 寛子(原)

最後に若手の方々にも観劇会に参加していただき、会を盛り上げて欲しいと思います。また来年の観劇会を楽しみにしています。



今年と同窓会総会は学校でした。観劇は新橋演舞場で一部貸し切りの観劇でしたので、いつか加わります。

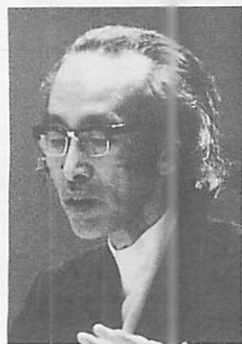
恩師の近況

学園に勤務し、退職された先生方の近況を順次お伝えしていきたいと思えます。今回は懐かしい三名の先生方に寄稿をお願いしました。

菅野 浩和先生

回想と近況

思いもかけず懐かしい「泉」会報への寄稿をというお求めをいただきました。私の東京文化学園での日々は、もう遥かに手の届かないほどの遠くに去ってしまつたものの、そこでの感慨は言葉や文章に表し得ない美しい、貴重な思い出として残っております。いま、ふと回想の気持ちに駆られて、とりとめのない、スケッチ様の小文を走らせておきます。



▲菅野 浩和先生

ご存知の方も、あるいはご存知のない方(年度によって異なる)

るでしょう)もおられることと思ひますが、私の東京文化学園時代は一九五三年から九九年までの、四十年あまりに亘つていますが、一九六九年からは他校(聖徳学園)に本務を移して九三年まで過ごしました。その間、東京文化は非常勤講師として臨んだのですが、その他一九八四年から十一年間、もう一校の講師をも兼任しました。

しかし、私の教員生活を振り返つてみますと、東京文化時代が一番長かつたし、深く関わつていたことを実感します。その間、単に教壇上での任務以外に、学生たちとの遠足、旅行、運動会、文化活動の催しのさまざま、それに合宿への参加などを通じて、ずいぶんいろいろの、たくさんの思い出を積み重ねました。ところで今ここに需められてゐるのは、「回想」ではなく「近況」だとすると、ずいぶん筋違いの文章になつてしまつた

かもしれません。いまはすべての教員生活から離れてしまいましたが、私にはもう一つの、自由業に属する活動があり、それは音楽活動に関わるさまざまであり、東京文化時代にもいろいろの場で、さまざまの形で出てきたので、嘗て、東京文化時代のコンサートを持った旧中野公会堂(現ゼロ・ホール)とか、今は新装成つて評判の杉並公会堂などの、何回にも及んだ学生たちとの楽興の場に、今は別の仕事や目的で訪れたりすることがあると、とたんに過ぎた年月が戻つてきて、とりわけの懐かしさに襲われます。

そう、こうしている間に、私もいまや人生の晩秋の時期にさしかかりました。私の人生は質朴に野に立つ一本の木のようにありたいと思つております。ゆえに、時が至つて木が枯れ倒れる時には、なんの特別なこともない、ひっそりとしたある一つの小さなことと受け止めてほしいと願つています。華やかな終末の式とか、たくさんの人々の集う営みは、私には全くふさわしくありません。時が至ればもうその時には、もうその次元には不在で、高いところか遠いと

ころに移っているのですから、それこそ野の古木の一本が枯れたのに等しいと思つてくださるよう、ゆえに花もなにもない、ひっそりとした、小さなひとときであつたら、なによりも望ましいのです。

奇妙な文章になつてしまつたかもしれません。いただいたチャンスに便乗しての余記とお読みくだされば幸いです。

ところで、この小文に添える「写真」、近映どころか、「いつの？」と問われそう。このところ私は「写真ぎらい」(撮られる場合)ゆえと、これもお許しのほどを!

浅原 正子先生

喜寿を迎えて、

3日精神

東京文化退職は今から十八年前。当節団塊の方々が第二の人



▲浅原 正子先生

生を始める年齢でした。十八年といえば新生児が高校卒業に至る歳月です。昨年喜寿を迎えましたが、同窓会の「泉」がこの間を振り返る機会を下さつたと思つて筆を執っています。

現在まあまあ健康で、スロ―ペースながらすることに事欠かず、ここ三年ほどは旅もあと回しという毎日です。

何してんのよー、と思われる方に聞いていただきましょう。言つてみれば三本立ての生活。

- ①現代ギリシャ語購読のグループで文学作品を読んで二十年で
- ②教会の仕事パソコンで
- ③小学校同期生会、女子大のグループ会等同年齢同時代の者の集まりに参加。気楽な楽しみです。

しかし、生活の要を成すのは母が遺してくれたクリスチャンとしての信仰かもしれません。

東京文化での出会いの中での3日精神は、卒業生がどれだけ身につけているかと想像するのですが、私自身にとつても、様々な場で頭でっかちでない役立ち方をしてきた、とつくづく

思います。退職後の十八年間は
その実践であったと。

その他、朝礼での先生方のひ
と言ふた言、また生徒との受け
答えが、具体的な言葉やカラー
動画で浮かんできて、温かい思
いに包まれるから不思議です。

私も東京文化の卒業生のひと
りなのでしょいか！

北原 由夫先生

「文化」を生活に生かす — 創立者の建学の理念を想う —

東京文化短期大学は、同窓生
であれば周知のことであって言
うまでもないが、昭和二(一九
二七)年に女子文化高等学院の
名の元に、東京お茶の水にて発
足した。そして翌年には女子経
済専門学校と改称し、初代の校
長に新渡戸稲造先生を迎え、高
等教育としての体制を整えてか
らすでに八十年余の歴史を数え
る。

この折の創設の理念が、今も
って極めて大切なことと思えて
ならない。それは文化を合理的
な生活の中に生かし「豊かで安
定した幸福を広く各階層に普及



▲北原 由夫先生

しようとする主義主張」だった
からである。もちろん「文化」
なる語は、古くから用いられて
おり、江戸時代には「文化、文
政」の年号があるし、明治の終
わりに漱石も「現代日本の開
化」と題する講演において「西
洋の文化」との語を用い、以後
も多くがその意図で使われてい
る。

だがそれは文化教養主義的な
意味が主であり、生活を合理化
し、家庭に豊かな香りをもたら
し、健やかな文化生活を営むた
めの言葉とは異なっていた。こ
の文化を、概念としてでなく生
活に役立てようとした意義は図
り知れない。経済学の泰斗であ
った森本厚吉先生は、学問の成
果を実生活に生かす上での果敢
な挑戦者であり、熱心な実践者
と成り得たのである。今後の学
園発展のため、創立の理念と意
図をさらに認識する必要がある
う。

「高校で学校給食」

高30 佐伯富美子

平成十七年度、ことぶき大学
Cコースのゼミ学習で、「安心
した消費生活を送るために」の

テーマがありました。内閣府の
消費者教育専門家派遣講師・内
田寛人氏の講義の中で、「高校
に学校給食があるのは、中野区
の東京文化だけです。」との話
がありました。ことぶき大学院

に進んだ私達は、「手づくり新
聞をつくらう」のテーマに入り、
現代の飽食時代における食育に
ついて学びたいと思い、学校側
に取材を申し込みました。

取材者三人で約束の(平成18
年)6月29日、朝九時に学園の
洋室に通されました。にこやか
な姿で入って来られたのは、校
長の堀越直子先生でした。

今回の取材の目的と、これま
でのいきさつ等の話の後、校長
先生は取材メモが取りやすいよ
うに、ゆっくりとした口調でお
話を始められました。

学校法人東京文化学園は、中
野区本町にあり、創立八〇周年。
初代校長は新渡戸稲造。

「こころ」をつくるためには、
健康な身体が何より大切。カフ

エテリアで友達と語らいながら、
楽しい時間を過ごすスクールラ
ンチは、高校二年生まで。三年
生になると選択科目が増え、時
間的都合で行っていない。

高校給食は、七、八年前より
知育、徳育そして体育の三本柱
に食育が加わり、四本柱にして
導入を行っている。併設短大卒
業の栄養士五、六名が担当し、
給食数は三〇〇食。

給食は、学校の教育のひとつ。
日本のものだけでなく、外国の
ものも取り入れる。バイキング
給食もあり、見た目も豪華に。
好きなものを好きなだけ食べる。
食事のマナーを学び、バランス
よく盛り付け、自分で盛ったも
のは残さない。

栄養士との挨拶や、言葉のや
りとりを通して、食育の指導を
し、昼食を大事に行っている。
毎日メニューが変わり、デザー
トに至るまですべて手作りして
いる。

成長期に必要な栄養やカロリ
ーが配慮され、誕生日、桃の節
句、クリスマスには、手作りの
ケーキがプレゼントされる。「一
〇〇%ではありませんが、細か
い対応をしています。」

校長先生との一時間の対話、



「みそいち新聞」昭和18年9月6
日発行から。

「みそいち新聞」は中野区のこと
ぶき大学野分教場第三十一期生の
同期会「みそいち会」によって制作
されています。

国内旅行

浅間高原寮が閉鎖へ

昭和三十九年から校外施設として利用されてきた浅間高原寮は平成十九年八月で閉鎖され、その四十三年余の歴史を閉じた。同窓会では、今年八月に記念の一泊旅行を行い、四十人が参加した。

浅間高原寮は、長野県北佐久郡御代田町塩野にあり、標高九百メートル、中軽井沢駅、小諸駅からともに七キロで、大浅間ゴルフ場のすぐ下にある。かつて寮の周辺は田畑と原野で閑散としていたが、平成五年に浅間山麓広域農道「浅間サンライン」に面し、交通量が多くなった。

高原寮は、昭和三十八年に卒業生のご厚意により土地を取得し、同窓会と後援会からの寄付により建物を建築した。当時は、夏期学校に利用するために宿泊場所を借りるのが困難だったの

で、高原寮は効率よく使われた。当初は、本館、浴室棟と管理人宿舎だけで、生徒四十人が本館食堂に畳を敷いて泊まった。昭和四十二年に故森本静子学園

さよなら浅間高原寮

高女20 仁藤 和(石井)

このタイトルにひかれて参加しました。

酷暑の続く東京を一刻も早く抜け出したい一行は総勢四十一名、八月十七日バスにて出発。順調に流れて佐久到着、「はりこし亭」にて昼食の後、シェイクスピア美術館見学。予定の時刻に3日マークの懐かしい校章のある山荘に着きました。夕食までのわずかな時間に運転手さんのご好意で、希望者のみ旧軽銀座の散策もやつてのけました。

六時の夕食には揃って参加。寮の職員の方、可愛い助っ人の男の子、皆心からの優しい笑顔が印象的でした。湊先生の始めの頃の寮の話、ビンゴゲーム、食堂一杯に輪になって歌った校歌、久し振りの楽しさでした。

翌朝、寮の窓一杯に埋め尽くされた緑の自然、大きな大きな木々、雑木林を渡って来る涼風、このせいたく自然をとて嬉しく感じました。と同時にこの素晴らしさと別れる淋しさもちよっぴりありました。

帰路はちよっとおしゃべりな「ルヴァン美術館」へ、昼食は

三五荘で。往路のバスの中では知らないおばさん達でしたが、帰路のバスの中は和やかで、優しく温かさを一杯に乗せた夏のバス旅行でした。

これぞ「同窓の強み」とつくづく感じさせられる旅でした。先生、スタッフの方々、本当にありがとうございました。



浅間高原寮本館前にて

浅間高原寮の旅

医41 松井 綾子

出発から四時間経った頃、小諸の「はりこし亭」に到着。澄み渡る空、瑞々しい緑、長野在住のお二人と合流して昼食です。「はりこし亭」よりバスで「シェイクスピア美術館」へ、「シェイクスピア版画」の鑑賞。その後バスは浅間高原寮へ。夕食は心尽くしのお料理に感激、懐かしい寮生活を思い出しました。食後にビンゴ、話ははずみ夜は更けていく中、校歌、蛍の光のコーラス。

八月十八日朝、野鳥のさえずりで目をさます。湧き水、豊かな自然の美しさ、寮内の散策、寮の方のお見送りで「ルヴァン美術館」、「南が丘倶楽部」巡りです。車窓からは白いあじさい、オレンジのユリの花、高原の花々です。「南が丘倶楽部」の中中でひとときわ素晴らしい「三五荘資料館」、「南が丘美術館」、豊かな自然に囲まれた環境の中にあるとても素晴らしい施設でした。食事も美味でした。バスは一路東京へ。大先輩、後輩の人達と過ごした楽しい思い出深い高原の旅でした。

総会欠席のお葉書から

専19 T・Jさん

母校が80周年を迎え、私も80歳となっております。当時、昭和18年に専門学校を選ぶ時に、今は亡き父に、近くに新渡戸先生の学校があるのではないかと言われて経専に行ったのをいつも誇りとし、感謝しております。今は夫と二人、お陰様で元気に暮らしております。

専19 S・Kさん

昭和19年にさかのぼっての9月卒業時代の私に、いまだに連絡をくださるご苦労に感謝しております。私は経専を卒業したことを誇りにしております。(森本厚吉校長時代)

現在、白杖を使う身でございますが、ひとり一室マンション生活、勿論、入浴以外はすべて設備されています。電話も。82歳の私、たいそう元気です。視力の低下以外は一人歩きも、外もできます。上京はむずかしい。残念。

短28 K・Rさん

75歳となりますが、家族4人の食事を作り、家庭菜園、庭仕事と忙しく暮らしております。

短30 T・Mさん

一病息災70歳を過ぎましたが、

電話相談のボランティアで社会とのつながりを持つてることを幸せと感じております。会の御盛会を祈念しております。

短31 N・Eさん

5月20日で75歳になりますが、介護保険のケアマネージャーとして、有料老人ホームに勤めております。同窓会の発展を心から祈り申し上げます。

短37 S・Tさん

皆様お元気ですか。欠席ですが、愛知支部(名古屋付近)で5月同窓会です。こちらもいつも楽しい会です。

短39 I・Mさん

主人もリタイアして悠々自適とはいえませんが、平穏な日々を過ごしております。

一昨年から区の民生委員をやっているので、忙しい毎日です。

短50 K・Tさん

いつもお世話を感謝申し上げます。元気に高齢者の仲間入りしました。院内の介護の仕事におわれています。老老介護となりましたが、日々を満喫しております。

医40 K・Mさん

今、私は町の図書館のボランティアをやっています。視覚障害者の音声訳をして、5年経ちました。文字ばかり見てい

たので、自分の視力もしよぼしよぼして年齢を感じます。楽しみは旅行などで、今回6月1日より10日間程ペルーです。出席できず残念です。

医42 Y・Mさん

94歳の父、86歳の母の介護で毎日大変です。それでも親は一日でも長生きしてほしいと願っています。時々、これが高齢者虐待?と反省したりしていますが、いつもやさしくは難しいですね。

医51 S・Mさん

茨城県立医療大小児科で、病理の標本作製のお仕事をさせて頂いております。この年齢に至るまで病理の仕事を続けられるとは思っていませんでした。先生活方に感謝です。

医56 A・Nさん

東京女子医大に勤めて20年になります。耳鼻科教授の元で、先生方の研究の実験を担当しています。何より自由にさせてもらっているため、自分の部屋で文献検索から実験まで、楽しい毎日を送っています。臨床検査技師になって本当に良かったと思っております。

高女16 S・Sさん

現在、東京更正保護女性連盟という法務省関係のボランティア

ア団体の会長をしております。3月27日、明治座全館貸し切りにした時、石井ふく子先生にお出まし頂き、久し振りにお会いしました。

高女18 N・Sさん

大動脈解離から命拾いし(人工血管歴25年)、福祉サービスを受け、ヘルパー週3回、デイケア1回、通院1回で楽しく自立しています。

高女19 M・Tさん

80歳に成りました。戦時下に女学生生活を送りました。経専の五年間は夢のようです。元気に主婦の仕事とカルチャー旅行を楽しんでいます。湊先生のお若い時のお姿が想い出されます。

高女22 N・Nさん

独りになりましたので、昨年8月から老人ホームに入りました。今年NHKの「ゆうどきネットワーク」に「バレンタインデーの思い出」で放映されました。

高女34 U・Eさん

92歳の母を世話しています。子どもに本の読み聞かせのボランティアをしています。係の方、いつもお世話さまです。

高27 Y・Mさん

観劇会、他の催し物に時折参

加させて戴き、元気で過ごさせていただけます事、感謝いたして、折々に友人とお会い出来、喜んでおります。幹事さんも御苦労様でございます。

高29 I・Mさん

子ども二人は自立して、それぞれ家庭を持っており、只今は老夫婦、多少健康に不安を持ちながらも、生涯学習のサークル等に参加して、日々の生活を楽しんで居ります。

高33 S・Kさん

地域のボランティア、日赤奉仕団でのボランティアと元気にすごしております。総会は都合が悪く、欠席をいたします。残念。

高36 A・Sさん

年金をいただける年になりました。毎日、水泳に、ウォーキングに山登りにと楽しんでいきます。たまには海外旅行へ。

高37 W・Sさん

森本静子先生や阪本浅之助先生(バイブルクラス)や諸先生方のことを想い出しては、懐かしんでおります。感謝です。

高H14 I・Aさん

東京学芸大学大学院に進学し、再び学生としてレベルアップのため、毎日勉強しています。小学校の時から夢を来年実現させます。またあそびに行きます。



本年度はさらなる改革として児童生活専攻の入学定員を十名増し、生活福祉専攻を十名減とする計画で申請を進めています。少子化による大学の定員割れが生じていますが、本学では教育内容を充実させて優秀な学生を確保していきます。ご支援よろ

短期大学・生活学科の近況 生活学科の改革は続きます

幼稚園教諭の誕生へ

二〇〇六年度から児童生活専攻は幼稚園教諭二種免許課程として認定され、保育士とともにこれからの幼児教育を担う人材の育成が本格的に始まりました。来春には幼稚園教諭免許取得者が生まれます。

男女共学となつて五年目、学生の活動は充実期を迎え、運動部では私学の大会や区民大会にも参加しています。充実した学生生活が送られています。



〈食物栄養専攻 入学定員八〇〉

食品や栄養に関する専門知識を始めとして、「人体の構造と機能」「社会生活と健康」など「食と健康」を総合的に学ぶのが食物栄養専攻です。授業で学んだ専門知識は、実験や実習を通してしっかりと身につけ、校

外実習では給食サービスの提供について、体験を通して学びます。卒業と同時に「栄養士」と「フードスペシャリスト」の資格が取得可能です。

〈生活福祉専攻 入学定員三〇〉

介護福祉士としての高度なスキルを修得するために、経験豊富な講師陣がきめ細かな指導を行い、充実したカリキュラムが組まれています。また、介護職に携わる者として倫理観と思いやりの心も養います。知識と技術を兼ね備えるのもちろん人間性の豊かな社会人として現場で活躍できる質の高い介護福祉士養成をめざします。

〈児童生活専攻 入学定員四〇 (申請中)・専攻科児童生活専攻 (1年間)〉

子どもたちを指導、援助する保育士は主に保育所や児童養護施設、知的障害者施設などで、幼稚園教諭は幼稚園でそれぞれ集団保育に従事します。子どもたちに生活習慣を教え、遊びや運動、工作などを通して情操を豊かにし、知的好奇心の目を育むために、確かな保育技術と柔軟な頭、人を愛する心を養う、それが児童生活専攻です。

(生活学科 教務部)

学生募集要項

(2008年4月入学生)
定員/生活学科150名
(共学)

- ◆食物栄養専攻
(栄養士免許)
- ◆生活福祉専攻
(介護福祉士)
- ◆児童生活専攻
専攻科児童生活専攻
(保育士、幼稚園教諭二種免許)

◎臨床検査学科については、臨検校舎(医学技術専門学校)にお問い合わせください。

◎選考方法、基準、手続き等が入学試験によって異なります。

同窓生の皆様、お知り合いをご紹介ください。

■AO (アドミッションズオフィス) 入学試験 (入学定員の20%程度)

エントリー期間	2007年6月11日(月)~2008年3月7日(金)
面談日程	* 初回面談は以下の日程から都合の良い日を選択 2007年: 10月6日(土)、11月24日(土)、12月15日(土) 2008年: 1月12日(土)、2月16日(土)、3月8日(土) * 2回目面談については、初回面談時に相談して決める(30分程度の面談)

■公募推薦入学試験 (入学定員の60%程度)

	1期	2期	3期
出願期間	2007年10月19日(金)~10月25日(木)	2007年11月9日(金)~11月15日(木)	2007年11月30日(金)~12月6日(木)
選考日	2007年10月27日(土)	2007年11月17日(土)	2007年12月8日(土)
合格発表	2007年10月27日(土)	2007年11月17日(土)	2007年12月8日(土)
選考方法	出願書類、面接		

■一般入学試験 (入学定員の20%程度)

	1期	2期
出願期間	2008年1月22日(火)~1月29日(火)	2008年2月13日(水)~2月20日(水)
選考日	2008年2月1日(金)	2008年2月23日(土)
合格発表	2008年2月1日(金)	2008年2月23日(土)
選考方法	筆記試験(下記の5科目の中から1科目選択)および面接	
試験科目	①国語総合、②英語I、③生物I、④化学I、⑤小論文(生活福祉専攻のみ選択可)	
配点・時間	各科目100点、各60分	

* 社会人入学試験(入学時に高校卒業後2年以上経過する者)・優待入学試験(専修学校、短期大学、大学のいずれかを卒業・卒業見込みの者)・帰国生徒入学試験・留学生入学試験については、お問い合わせください。

「医技最後の卒業生として想うこと」

医技 三年生 野澤尚子



医技に入学してからを振り返ってみると、実習やレポート、試験など辛かったことが沢山ありました。でも医技に入ったからこそ出会えた友人や先生、先輩方に支えられ、ここまで頑張ることができたのだと思います、皆様からありがとうございます。

五十五年の歴史を誇った医技も私達の代をもって閉校となりますが、この志はこれからも短大臨床検査学科に引き継がれていきます。私は社会に出て臨床検査技師としての崇高な任務を果たしてゆく中でも、先輩方から受け継がれてきたこの東京文化の精神を次の代に誇りをもって伝えていくことが素晴らしいと思います。

秀である」と思われ、時には荷の重さも感じました。これは言うまでもなく偉大な先輩方の実績の賜です。先輩方が私達のために「道」を作って下さった事で、私達も東京文化の学生として胸を張ることができたと、3日精神の「活く頭、勤しむ双手、寛き心」を継承し実践できました。

心から患者様のためにつくす気持ちを持つことが大切だということです。

そしてもう一つが東京文化というブランドの偉大さです。東京文化の学生というだけで「優

卒業生の就職進学先一覧

(平成十九年三月)

卒業者は六十二名で就職希望者は五十五名、進学希望者は七

名でした。皆様のご支援のお陰で、以下のとおり全員進路が決まり頑張っています。ありがとうございます。(名前の後ろの数字は就職人数)

就職先・自治医科大学附属病院、自治医科大学附属大宮医療センター、防衛医科大学校病院、東京慈恵会医科大学附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、昭和大学病院2、東京女子医科大学病院、東海大学病院、慶應義塾大学病院2、東京医科大学病院3、日本医科大学付属病院2、順天堂大学江東高齢者医療センター1、国際医療福祉大学附属熱海病院、国立病院機構東京病院千葉県こども病院、虎の門病院3、国保旭中央病院、東京通信病院2、都立駒込病院、荻窪病院、オリンピア眼科病院、新葛飾病院、戸田中央病院2、亀田総合病院2、聖隷佐倉市民病院、新東京病院2、鎗田病院、日立総合病院、新宿海上ビル診療所、日本赤十字社血液センター3、BML、ピーシーエルジャパン2、エスアールエル・ラボ・クリエイト2、江戸川区医師会医療センター2、PL東京健康管理センター2、ケイ・ティール・メディカル、綜友会、三菱化学

ヤトロン。

進学先・北里大学医療衛生学部衛生技術学科臨床検査学専攻(三年次編入)、麻布大学環境保
次編入)、東京理科大学理学部
第二部化学科(二年次編入)、
日本工学院専門学校 臨床工学
専攻科、癌研究会有明病院付設
細胞検査士養成所3。

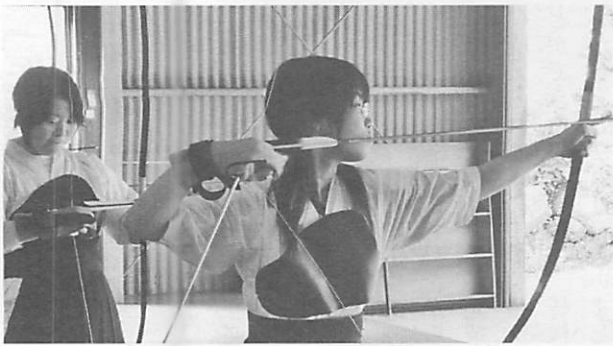
短期大学臨床検査学科 試験日程

入試区分	出願期間	試験日時・会場	合格発表
単願 公募A推薦1期	2007年10月22日(月)～ 11月5日(月) 必着	2007年11月8日(木)	2007年11月9日(金)
単願 公募A推薦2期	2007年11月19日(月)～ 12月3日(月) 必着	2007年12月6日(木)	2007年12月7日(金)
併願可 公募B推薦 (自己推薦含)	2007年12月19日(木)～ 2008年1月12日(土) 必着	2008年1月17日(木)	2008年1月18日(金)
併願可 一般入試1期	2008年1月21日(月)～ 2008年1月30日(水) 必着	2008年2月2日(土)	試験当日
併願可 一般入試2期	2008年2月12日(火)～ 2月25日(月) 必着	2008年2月28日(木)	試験当日
併願可 一般入試3期	2008年3月5日(水)～ 3月18日(火) 必着	2008年3月21日(金)	試験当日

中学校・高等学校

今、求められるもの

価値観が目まぐるしく変わっている現在の日本社会。それについて求められる教育内容も大きく変化してきました。教育基本法の改正は今後の教育界に新たな波紋を広げるでしょう。倫理観が薄れた今必要とされるものは「心の教育」です。東京文化が八十年來受け継いで実践してきた「3日精神」の「心



▲部活動「弓道部」

の教育」がまさに求められています。私たちは自信を持って今の教育をすすめてゆきます。今年、東京文化中学高等学校が特に力を入れて実践している教育内容の「心の教育」と「完全倒見主義」を含めていくつ



▶沖縄修学旅行「交流会」

「心の教育」

生徒達は心身共に成長期にあ

り、自分と他者との係わりや価値観に毎日心が揺れ動いています。そんな生徒達と共に、初代校長・新渡戸稲造先生の数ある著書の中から厳選したテーマを軸に、手作りの冊子「夢に向かって」で心のあり方を考えます。そしてそれは、生徒自身が自分の夢の実現のために何が必要かを考えるヒントにもなっています。

「完全倒見主義」

第一希望の進路実現のために、徹底したサポート体制を作り成果をあげています。「成長カルテ」「進路開発計画」「One is One」「ドラゴンクラス」の四つの柱でできています。詳しくは進路の項目をご覧ください。

「国際教育プログラム」

昨今、子供達の生活体験が少なくなってきました。行事や体験学習を通して、調べ・まとめ・発表を通して最終的に表現力を高めるプログラムで総合的な力を育てます。

また、中学では内外の文化を考えて国際理解を深め、使える英語の修得を目指しています。フィールドトリップ・国際理解教室での意見交換やブリティッシュ・ユビルズでの国内留学体験、そしてカナダへの修学旅行でまとめをします。

◀国際教育「華道」



「第三者評価」

第三者評価は、保護者の他に地域の方々にも参加していただき、生徒にとって有意義な授業かどうかを評価していただくものです。授業評価の教育懇談会では辛口の意見も出され、我々

教員も一層の工夫と努力を続けてゆくことをあらためて認識しました。この他にも、五十年の歴史の「スクールランチ」、保護者に参加していただく「イブニングセミナー」「英会話教室」など多様な取り組みを行っています。活動内容が評価され、中学入学生も増えてきました。新渡戸先生の残された「教職員心得」の中の「親心を持って」を心に、教育活動を続けていきます。同窓会の皆様方のご支援をお願いいたします。(上前)

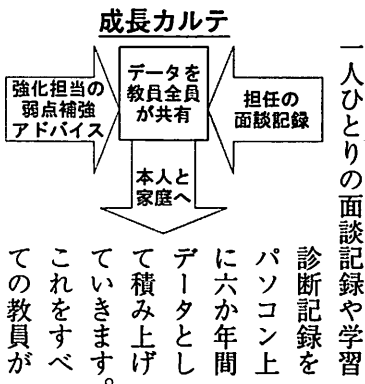


▲イブニングセミナー「そば打ち」

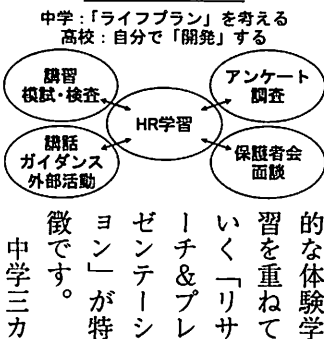
進路から

東京文化中高では、在籍するすべての生徒の夢実現を目指し、次のような「完全面倒見主義」で取り組んでいます。

1 成長カルテ



進路開発計画



共有し、個々の可能性を引き出していきます。また家庭にもその都度推移が通知されています。

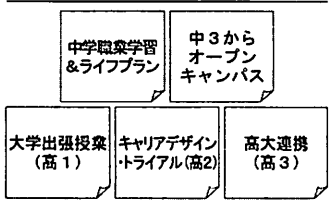
2 進路開発計画

講習や模試、ガイダンスなどの実施はもちろんですが、系統的な体験学習を重ねていく「リサーチ&プレゼンテーション」が特徴です。

一人ひとりについて複数の教員がチームを組んで個別指導する体制を確立しています。これらにより高い現役四大合格率(85.3%)を実現しているのです。

4 ドラゴンクラス

リサーチ&プレゼンテーション



3 「One to one」

昨今の大学入試ではAO・推薦入試への対策は欠かせません。本校では提出書類の添削や入試当日の面接練習、小論文やプレゼンテーションの準備など、一人ひとりについて複数の教員がチームを組んで個別指導する体制を確立しています。これらにより高い現役四大合格率(85.3%)を実現しているのです。

年ではキャリア学習として一年生から職業人インタビューに取り組み、三年生では自分のライフプランを考えるまでに意識を高め、すべて新渡戸祭で発表します。

高校では二年次に「キャリアデザイン・トライアル」に取り組みます。これは大学側の協力を得て、高校二年生全員が自宅から直接通学し、二日間の大学生体験をする行事です。大学の学問・環境について実地で学び、自ら進路を切り拓く力を育てていきます。

〔中学校〕	10月6日(土)、12月1日(土)、1月12日(土)...	14:00~15:00
〔高等学校〕	10月6日(土)、12月1日(土)、1月12日(土)...	14:30~15:30
〔個別相談会〕	11月25日(日)	10:00~16:00
	12月9日(日)	13:30~16:00

〔学習会〕	＜中学校(小6対象) ※要予約＞	10月20日(土)、11月17日(土)...	10:00~12:45
		1月7日(月)...	10:00~12:15
〔クリスマス〕	＜中学校 ※要予約＞	12月15日(土)...	10:00~12:45
〔新渡戸祭〕	11月2日(金)、3日(祝・土)...	10:00~15:30	
	ミニ説明会	11月3日(祝・土)...	11:30~12:00
			14:00~14:30
	個別相談会	11月3日(祝・土)...	10:00~16:00
〔公開授業〕	11月25日(日)...	8:40~15:10	

中 学 校						
募集人員	1回AM	1回PM	2回AM	2回PM	3回	4回
	30		20		5	5
試験内容	国語・算数・面接(受験生のみ)					
試験日	2/1(金)		2/2(土)		2/3(日)	2/4(月)
	9:00~	15:00~	9:00~	15:00~	9:00~	9:00~
合格発表	2/1(金)		2/2(土)		2/3(日)	2/4(月)
高 等 学 校						
募集人員	コース	推薦入試	一般入試			
			1回	2回		
	一般進学	40	40(1回・2回の合計)			
特別進学	10	20(1回・2回の合計)				
試験内容	作文・面接		国語・数学・英語・面接			
試験日	1/22(火)		2/10(日)		2/11(祝・月)	
合格発表	1/22(火)		2/10(日)		2/11(祝・月)	

※中学・高等学校の合格発表は、窓口とインターネットがあります。

「ドラゴンクラス」は、日常のカリキュラムを超えた内容を求めている自発的、積極的な高年生のための個別コーチング・システムです。

各教科のドラゴン教員が個々の実力アップに適切なメニューを作成し、消化させていくものです。学校が開いている限りはあらゆる機会に面倒をみます。

今年度は中学生版の「ジュニア・ドラゴン」も企画進行中です。(佐藤)

小学校

「ぬくもり、ふれあい、わかちあい」

小学校長 福田景三郎



東京文化小学校の門をくぐって一番嬉しいこと、それはたまたさんの笑顔に出会えることです。明るく、温かく、どこまでもやさしく、元気よく、目をきらきらと輝かせて「人間って素晴らしいね」、「一緒にいるって楽しいね」という笑顔の海の中で漂いながら「東京文化家族の一員になれてよかった」という思いで胸がいっぱいになります。これが「生きている」という意味

なんだということを三三四人の子供たちから伝えてもらっています。この感激は一生忘れることのないぬくもりとしていつまでも私を暖めてくれることでしょう。

ここで、私たちの大事な子供についてちよつと考えてみたいと思います。子供に悪い子はいません。みんなよい子です。聖書の中でも、イエス様は私たち大人に「子供のようにならなければ天国へ入ることはできませんよ」とおっしゃっています。子供はみんな何かしら良いところを持っています。それが個性といわれているものではないでしょうか。私達は一人一人違う良さを持ち、違うからこそ意味があり、これを大事にしていくことこそ大切なことなのです。子供達誰もが持っている良さを一つでも多く出るようにする場が学校です。そしてイエス様は子供の良さを見過ぎさないでしっかりと見るとおっしゃっています。何故でしょうか。

子供の素晴らしさは純粋で、素直で、何でもすぐ信じられて、どんなことにも驚きを持ち、物事を理屈ではなく清らかな心で捉えることができることです。だからこそ物事の本質を捉えやすいのです。つまり人間にとつて何が大事で何が大事でないかつまり、人間にとつて一番大切なものは何かを捉えることができるからです。

子供のこぼれるような笑顔を見てみると「ぬくもり、ふれあい、わかちあい」こそ人間にとつて欠くべからざるもの、他の何を捨ててもこれだけは大事にしなければいけないのだと分かります。見失ってはいけないもの、持っていることを思い出すべきもの、そして、大事にすべきものはこれです。それでもちよつと気になる子供がいるという人もいます。その大人が気になるからと言ってその子が悪い子と決めつけてはいけません。子供はみんな良い子なんです。良いものを神様からいただき、ご両親によって大事に育まれてきたのです。良いものは必ずその子の中にあります。ただその現れる出口の蓋の開き方が小さいというだけで

す。だから子供の周りにいる大人は、その蓋が少しでも大きく開くように手助けをすればいいのです。そうすれば、周りにいる大人もその子のよさに気づくようになるでしょう。大事なことは、まず、よいところがあると信じて、褒めること、そして待つことです。自然であればあるほど良いものは溢れてくるものです。

最近こんなことがありました。十分休みになると、中庭にはたくさんの子供達が太陽を浴びて遊んでいます。ボール投げをする五年生、一輪車に乗る二年生、おっかかけっこの三年生。校長室の窓は全部ガラスで天井から大きく開いています。ふと見ると、四年生の女子が、一年生の女子に竹馬を一生懸命教えています。「そうよ、左足をあげるとき左手もあげるの。上手、上手!」「体は前へちよつと倒すのよ。そうそう、すごい!」四年生はにこにこしながら竹馬を説明しています。一年生は少し緊張中。でも足元を見ながら一歩二歩進みます。「下を見るより前を見たほうが乗りやすいのよ。上手いじゃない!」

褒められるたびに一年生の顔にちよこつと笑顔が浮かびます。私は思わず声をかけました。「朋美ちゃん、えらいなあ。教えるの上手だね。すごい!」朋美ちゃんは少し照れながら言いました。「わたし、竹馬、そんなに上手じゃないけれど同じ名前だから教えたくなっちゃったの。」「あーそうか、同じ!」ともみちゃんだね。」

四年生は朋美ちゃん、一年生は智美ちゃん。字は違うけど同じ!ともみちゃん同士!なんです。チャイムが鳴りました。一年生のともみちゃんは駆け足で、四年生のともみちゃんは両手に竹馬を持って校舎の中に入りました。きつと何年後には、一年生のともみちゃんも下級生に笑顔を作るお手伝いをしていることでしょう。楽しみです。「ぬくもり、ふれあい、わかちあい」。言うのは簡単ですが行えるのが子供達です。「はつきり言っておくが、心を入れ替えて、子供のようにならなければ、けつして天の国へ入ることはできない。」マタイによる福音書十八章三節。

ようちえんだより



▲年長組調理実習食育体験(とうもろこしの皮むぎ)

記録的な猛暑に見舞われた夏休みでしたが、子ども達は家庭でいろいろな経験をして、また元気に幼稚園に戻ってきました。

二学期にたくさんさんの行事があります。ひとりひとりが生き生きと参加できるように保育を進めていきます。

九月のクラス便りから

保育室にまた子ども達の元気な声に戻ってきました。初めての夏休みは元気いっぱい過ごしたことができたか？ 久しぶりの

ぶりに会うお友達や先生と関わりを持ちながら、少しずつ幼稚園の生活リズムを思い出していられると良いですね。

一学期の終わりに子ども達は、〃ことり組の中の私〃こぐま組の中の僕〃というクラスの一人としての思いが強くなり、新しい幼稚園という社会生活の場に慣れてきました。夏休みの間は再び温かく安心できる家庭の中で過ごし、ちよっぴり頑張った疲れした心は元気を取り戻したことでしよう。

二学期から少しずつことり・こぐま組一緒に活動する時間を持っています。一学期の間は、砂場で一緒に山作りをしたり、礼拝やプール遊びなど合同で過ごしてきましたが、二学期は、行事の前などに一緒に絵本を読んだり、お話を聞き、年少組が一つの輪として同じ流れの中で経験できるようにと考えています。

九月の最初に経験する運動会。自由遊びの時間に年中組や年長組が笛の合図にかけっこをして

いるのを見て一緒に参加したり、音楽にあわせてダンスをしている輪の中に入っていくことでしょうか。当日は広い学園のグラウンドに圧倒されてしまうかもしれません。精一杯頑張る姿に温かい声援をお願いします。(赤松)

〈年中組〉

長いお休みも終わり、日焼けした子ども達はひと回り大きくなったことでしょうか。

夏休みは台風がきたり、とても暑い日があったりと様々な気候でしたが子ども達は海に行ったり、キャンプに行ったり、虫取りをしたりと毎日を楽しんでいた様子、お休みに頂いた暑中見舞いから窺うことができました。

九月はすぐに、運動会の練習を始めました。子ども達に無理のないよう、自由遊びの中でかけっこや、年長組と一緒にダンスを取り入れていこうと思っています。七夕の日の短冊に『運動会で速く走れますように。』と願いを込めた子どももいましたので、「速く走れること」と共に「速くなくても、一生懸命取り組むことの大切さ」や、「諦めずに頑張っていくこ

との大切さ」も体験していったほしいと願っています。

運動会が終わるとすぐに、お芋掘り遠足があります。自分の手を使いお芋を掘ることや、収穫したお芋をご家庭でおいしくいただくことで秋の実りを実感することができるとしよう。(相高)

〈年長組〉

五十二日間の長い夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まり、幼稚園には元気な子ども達の声に戻ってきました。この夏休みでまた少し成長し、ひとまわり大きくなったように感じます。お休み中に頂いたお便りからは、それぞれの楽しく充実した夏休みの様子をうかがい知ることができ、私達も楽しく嬉しい気持ちでした。

七月の浅間宿泊保育では、お天気が不安定だったために、カード探しのゲームが室内に変更になりましたが、急遽実施した楽焼きもとても楽しんでいました。キャンプファイヤーと花火は予定通り行うことができ、火の周りを囲んで♪ジェンカや♪僕の心のなかがを踊ったり、歌ったりして、最後にはきれいな花火を楽しむことができました。

ゆり組、ばら組三十五人全員が元気に参加し、それぞれの胸に沢山の思い出を作った帰ってきたことができました。

二学期は、早速運動会に向けてかけっこやダンスをしていこうと考えています。幼稚園最高学年となった今年は年中組をリードしながら思いきり自分の力を発揮して欲しいと願っています。(中嶋)

平成20年度園児募集☆

入園案内無料配布中

【公開保育】

10月12日(金)

午前9時30分

～11時30分

【入園説明会】

10月24日(水)

午後2時～3時

お問い合わせ 03 (3381) 1183

夢 新 渡 戸
ゆ め に と べ
夢 に 飛 べ

これが今年の新渡戸祭のスローガン

創立80周年は、ルネッサンス80の年

ゆめにとべ
夢新渡戸は、文化復興の宣言でもあります。

2008年4月1日から学校法人名称を

新渡戸文化学園に変更します。

これからは、ゆめにとべ夢新渡戸文化学園と覚えてください。

なお、東京文化短期大学、東京文化中学高等学校、
東京文化小学校、東京文化幼稚園という学校名称は
変更いたしません。

一般会計収支(平成18年度) (円)			資産残高(平成19年3月31日) (円)		
収 入	会 費 収 入 他	9,840,458	一 般 会 計	現預金	75,811,528
	前年度より繰越	419,076	事 業 部 会 計	現預金	29,057,810
	計	10,259,534	旅 行 部 会 計	現預金	797,148
支 出	諸 費 用	9,274,228	会 報 部 会 計	現預金	451,084
	次年度へ繰越	985,306	文 化 部 会 計	現預金	870,801
	合 計	10,259,534	奨 学 金	現預金	1,310,027

東京文化学園同窓会理事名簿

本部

会 長	湊 くに	175-0094	板橋区成増4-21-3	☎03-3930-6011
副 会 長	森 本 晴 生	179-0072	練馬区光が丘3-7-9-201	☎03-3939-8171
副 会 長	黒 澤 教 子	167-0032	杉並区天沼2-15-2	☎03-3391-7351
副 会 長 代 行	小 松 洋 子	180-0022	武蔵野市境2-6-27-305	☎0422-54-2771
会 計 監 査	青 木 純 子	176-0024	練馬区中村3-5-16	☎03-3999-4212
会 計 監 査	高 橋 芳 子	166-0002	杉並区高円寺北2-7-6	☎03-3337-1401

専門部

幹 事 長	中 川 悦	169-0073	新宿区百人町1-21-9	☎03-3361-6474
副 幹 事 長	藤 原 芳 江	164-0003	中野区東中野5-20-14	☎03-3371-4506

短大部

幹 事 長	長 井 康 子	176-0013	練馬区豊玉中2-25-10-203	☎03-3994-1523
副 幹 事 長	五十嵐 佳寿子	272-0813	市川市中山2-8-8	☎0473-34-2354
副 幹 事 長	富 士 ひろみ	161-0032	新宿区中落合4-21-4	☎03-3950-5489

高女・高校部

幹 事 長	三 雲 保 子	166-0012	杉並区和田1-67-17	☎03-3381-1049
副 幹 事 長	伊 藤 美和子	167-0032	杉並区天沼2-36-22	☎03-3398-0062
副 幹 事 長	市 原 和 子	164-0011	中野区中央2-48-1	☎03-3371-8540
副 幹 事 長	宮 関 千鶴子	155-0031	世田谷区北沢1-6-21	☎03-3467-0733
副 幹 事 長	渡 部 睦 子	166-0011	杉並区梅里2-7-21	☎03-3312-3663
副 幹 事 長	井 元 喜代枝	164-0012	中野区本町1-32-1-701	☎03-3372-9833
副 幹 事 長	宮 本 婦美子	179-0075	練馬区高松1-4-9	☎03-6760-0235

医技部

幹 事 長	相 賀 静 子	321-2345	日光市木和田島高内1373	☎0288-26-9240
副 幹 事 長	成 澤 敏 枝	104-0052	中央区月島3-7-2	☎03-3531-2746
副 幹 事 長	松 井 綾 子	170-0003	豊島区駒込1-10-13-402	☎03-3945-4533

ビジネスアカデミー

幹 事 長	野 上 幸 絵	178-0063	練馬区東大泉1-28-7-5階	☎03-3384-0364
副 幹 事 長	土 屋 乃 予	136-0076	江東区南砂1-3-3-209	☎03-3649-0017

小学校

幹 事 長	森 本 光 生	166-0012	杉並区和田1-64-5	☎03-5385-7670
副 幹 事 長	能 村 佳 子	166-0012	杉並区和田1-28-7	☎03-3384-0364
副 幹 事 長	土 田 宏 子	176-0001	練馬区練馬4-18-21-609	☎03-5999-2720
副 幹 事 長	中 武 麻 子	166-0011	杉並区梅里2-25-13-1006	☎03-3315-7376

特別理事

石 森 真 子	代表番号	☎03-3381-0196 (内線) 230	☎048-837-1316
---------	------	---------------------------	---------------

校内理事

原 たつえ		(内線) 279	☎0426-25-6619
安 蔵 素 乃	小代表	☎03-3381-0124	☎03-3381-5599
高 嶋 真 理	臨検代表	☎03-3381-0121	☎03-3375-9435

事務局

同窓会室

小 暮 明 子	166-0003	(内線) 232 杉並区高円寺南3-13-11	☎03-5305-6550
---------	----------	----------------------------	---------------

年会費納入のお願い

年会費の納入方法には、年払いと一括払いの二種類があります。

一括納入された場合、以後、年会費の納入は不要です。

①年払い 年額一、〇〇〇円
②一括納入 二〇、〇〇〇円

なお、年会費は同窓会の運営費です。どうぞその点、ご理解いただき、全会員が忘れなくお納めくださいますようお願いいたします。

払込用紙の記入について

ア 卒業校別の略称項目に、必ず〇印を付けてください。

イ 卒業年月と会員登録番号(宛名のラベルに記載あり)をお忘れなく。

ウ お名前は楷書で。毎年記入もれが多く調査に困惑しております。正確にご記入ください。

*ご不明の点は、同窓会事務局(担当・伊藤)へ

既に一括納入された方に振込用紙が封入された場合は破棄していただき、手違いをご容赦ください。

平成19年度 同窓会の活動と予定

○行事・他

4月24日 幹事会

於 学園第二カフェテリア

6月2日 総会 於 学園内

アトラクションでフラメンコ鑑賞(土屋乃予さん他出演)

6月24日 観劇会「おんな太閤

記」

於 新橋演舞場

8月17〜18日

浅間高原寮一泊旅行

10月13日 学園創立八十周年

記念式典参加

11月3〜4日 新渡戸祭参加

作品展示・バザー・喫茶等

○理事会実施状況

4月16日 第一回理事会

予算・決算について

役割分担について

幹事会・総会について

観劇会について

5月21日 第二回理事会

幹事会の反省

総会について

観劇会について

7月9日 第三回理事会

総会・観劇会の反省・報告

浅間高原寮一泊旅行について

「泉」発行について

9月10日 第四回理事会

浅間高原寮一泊旅行の報告

新渡戸祭参加について

12月 第五回理事会予定

1月 第六回理事会予定

新渡戸祭にご協力を

本年も数多くのバザーへの献品をお願いいたします。日用品・衣料品・食品など、また新鮮野菜でも結構です。同窓生による手作り作品の展示、および即売もいたします。

献品、展示、即売を希望される方は、10月25日(木)までに同窓会必着で、「献品・展示作品」など明記してお送りください。詳細は同窓会事務局へお問い合わせください。(月水金の11時〜15時)

《住所等の変更をされた時は》

住所等の変更は郵便局とは別に同窓会事務局へ必ずご連絡ください。連絡の際は登録番号をお忘れなく!

謹んでおくやみ申し上げます。

物故者	氏名 (敬称略)	短S	越田 孝子 (水村)
女S 05	中村ヤエノ (山口)	短S 28	越田 孝子 (水村)
女S 07	鈴木 かつ (飯塚)	短S 32	森田美智子 (高崎)
女S 13	有賀 悦子	短S 35	須藤 康江 (須藤)
女S 13	福村 睦子 (岩淵)	短S 42	佐藤なをみ (本間)
女S 13	本間 光恵 (熊谷)	短S 44	多田 和子 (竹添)
女S 15	三好 明子 (深井)	短S 44	宮川 礼子 (大沢)
女S 15	鎮目 淑子 (村井)	短S 45	金子 恵子 (田中)
女S 16	鈴木 秀子 (古屋)	高S 29	椿澤 博子 (小椋)
女S 17	作原 洋子 (伊佐野)	高S 29	平野しづ江 (稲葉)
女S 18	高倉 葉	高S 29	仙波登久子 (金子)
女S 22	辻井喜美子	高S 31	石川 和子 (石川)
女S 23	鈴木千枝子 (越野光子)	高S 31	加藤賢和子
女S 23	平田さかえ (加納)	高S 31	小平 燕 (藤森)
女S 23	前田 京子 (大野木)	高S 31	小松エイ子 (吉田)
女S 24	浦田 祐子 (宮本)	高S 31	沢田トシ子 (佐藤)
女S 09	石橋 勝子	高S 31	永井カズ子 (加藤)
女S 14	森本まさ子 (近藤)	高S 33	並河 朝美 (反成)
女S 18	小山 照子 (大野)	高S 36	春日井美民 (富岡)
女S 18	山下 多喜 (兼子)	高S 36	篠原 久子
女S 23	加瀬 昭子 (三田)	高S 39	小澤みゆき (名取)
女S 24	小石沢菊江 (仙洞田)	高S 43	山本 雅子 (山本)
女S 24	武石 愛子 (竹村)	高S 50	高久 恵子
女S 25	蓮井 澄子	医S 36	新井 昌子 (上野)

○連絡方法は電話、ファクス、インターネットでもかまいません。登録を変更するまでに二カ月かかる場合もありますので、ご了承ください。○登録された住所等は、同窓会・学園からの連絡以外には使用いたしません。

発行所 〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1 東京文化学園同窓会 電話 03-3381-0196 (内線 232) FAX 03-3381-7866 発行人 湊 くに 編集人 青木 純子 印刷所 山藤 三陽印刷(株)